

## 2

# 西小園原野の維持管理と地域との交流

- 実施主体 西小園原野組合（阿蘇市）
- 実施場所 西小園原野
- 実施期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月



### ◇背景・ねらい

西小園原野は、阿蘇市北外輪山のミルクロード沿い（兜岩展望所から菊池阿蘇スカイライン手前まで）に位置する。敷地南側には九州自然歩道が通っており、観光やハイキングなど利用者が多い所である。先祖代々、西小園地域住民により作り上げられ管理されてきた草原が、畜産農家の減少により維持管理に困難をきたすなか、草原を貴重な遺産として認識し、子々孫々にわたって守り継ぐため、原野の維持管理を継続し、自然環境を保全するとともに多目的な利用を推進し、広く一般に開放することにより社会貢献と組合員の経済的向上を図るよう、平成 11 年に管理組合を設立し活動している。

### ◆実施概要

#### ①維持管理

- ・野焼き、輪地切り、輪地焼きの実施（毎年）
- ・展望所、トイレ（熊本県）の清掃管理実施（通年）
- ・九州自然歩道の道路維持（砕石散布、路肩補修等逐次）

#### ②動植物・草原学習・観光利用

- ・ススキを利用して迷路を作成、展望所を利用する子どもたちに体で草原を感じてもらう。また、ススキでフクロウを作成展示。

- ・展望所周囲に草花、樹木を植栽、観光客に開放。

チューリップ（H27.10 植栽、H28.4 開花予定 24,000 株）

オミナエシ、ヒゴタイ（H27.9 植栽、H28.8 開花予定）

ツクシイバラ 300 本植栽



ススキの迷路：草刈り機で歩道を設置

### ◆実施体制

- ・組合員 25 名および地区内協力者数名、展望所売店関係者

### ◆成 果

- ・ススキの迷路：1 ha 内に 150m と 130m の迷路設置。観光客の立ち寄りが増加して、子どもたちに元気が出た。
- ・フクロウ作り：参加者 20 名。地域住民の交流に役立った。
- ・野焼き：参加者 25 名、ボランティア 5 名。  
面積約 76ha、草原保護育成に効果有り。



フクロウ作り：地域公民館で自然公園財団の支援を受けて作成

### ◆実施者の感想

- ・ススキの迷路は、観光客に喜んでもらえるのでやりがいがある。
- ・野焼きは、組合員の高齢化により準備作業（輪地切り、輪地焼き作業）を含め、今後の継続が心配ではある。



チューリップの開花